



あなたは、樹木葬に何を求めますか？

今の社会の状況やニーズを反映して、樹木葬はいちばん選ばれるお墓の形になりました。
ここ、石巻かほくの地域でも例外ではありません。

樹木葬を選ぶ理由の上位は、多くのアンケート結果から
費用を抑えたい／お墓の継承者がいない／檀家にならなくていい、となっています。

決め手は、「その上で」何を求めるのか。
石巻かほく樹木葬は開園当時より
どんな人にも安心／自然に抱かれたふる里、を掲げています。

この地で400年続く曹洞宗の寺院が「お勤め」として管理することで安心を提供。
日々の心配りだけでなく、供養の手段が揃っていることも大事だと考えています。

多くの人が最期は、日本らしい自然の土に還りたいと願いますが、
石巻中心部から車で30分弱の立地ながら広い空の下に広がる自然に包まれた当所は、
まさにその思いを実現できる環境。
里山の南面の丘には、気持ちの良い風が吹き抜け、四季の花が心を和ませます。

お墓に入ることによって帰郷したい。
参ってくれる人の心が安らぐ場所で眠りたい。
そんな思いを実現できます。



お骨として、お経として
観音寺が永代供養



ご家族と、ペットとも
一緒に眠れるプラン



花を選べる
デザインプレート

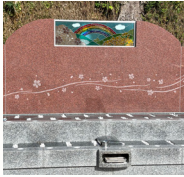


森の中央で見守る
花かんのん

多彩なプラン

空 合祀タイプ

誰もが平和に安心して眠れる「終のすみか」



風 個室タイプ

お一人でも大丈夫。大切な人と二人まで使用可能



花 家族タイプ

愛する家族に見守られいつも一緒。花立が付属



虹 家族とペットタイプ

ペットも家族。何人でも大丈夫 香炉・花立が付属



納骨後の供養について【お二人の場合】

ご契約

期限なし

お一人目納骨

期限なし

お二人目納骨

7～10年間

永代供養墓へ

生前にご夫婦
でご契約

先に亡くなられた
方の納骨

二人目を納骨

お二人そろって
合祀



平成22年に一関で自然と共生する供養の形、「樹木葬」を開園しました。その翌年、未曾有の震災が発生し、多くの尊い命が失われたことを受け、鎮魂供養の祈りを込めた桜の植樹活動を、石巻を中心に始めました。

震災から年月が経つ中、高齢者の終末問題に目を向ける機会が増えました。家や家族を失い、不安を抱える方々が多くいらっしゃいます。

そのような中で、私たちは震災を経験したこの地だからこそ、高齢化社会に向けて「花のように生き、安心して最期を迎えられる樹木葬」を皆さまにお届けしたいと願っています。

自然に還るという優しい供養の形を通じて、亡くなられた方々への祈りと共に、心の平安をお届けする場所となれるよう努めてまいります。



観音寺二十七世住職
後藤泰彦